

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人ほのぼの苑

令和4年度事業概要

令和4年度は、新型コロナ感染対策により、ショートステイの受け入れの一部制限を実施しておりましたが、4月より順次受け入れを開始し、5月25日には100%の稼働となっております。今年度は、過去最高の収益となりましたが、燃料費等の高騰による費用の増加もあり、依然厳しい経営環境となりました。

また11月には、当苑においても新型コロナ感染によるクラスターが発生し、収束までに1か月余りを要しました。その間、ご利用者様、ご家族様、地域や関係機関の皆様、役員の皆様には多大な心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫びします。5月8日からは5類感染症に移行になったものの、感染リスクは依然変わらず、当面は福井県老人福祉施設協議会からの新型コロナウイルス感染症の対応指針に沿って感染対策の継続を実施していきます。

また、令和4年5月には、福井労働局より令和3年度ユースエール認定企業として認定を受けました。この認定は若者の採用・育成に積極的で雇用管理の優良な中小企業に送られるもので、今後も働きやすい職場づくりに努めていきます。

また、自立支援・重度化防止の取組を適切または効率的に行うため、「介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進」が求められており、当苑においても、記録の効率化と業務の軽減を図るため、介護ソフトの刷新を図ったところですが、今後もサービスの質の評価やデータの活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスが提供できるように努めていきます。

一方で、当苑は開業以来23年が経過し、建物や設備機器等の老朽化が進行してきましたので、貯水槽地中パイプの入れ替え、空調修理など、介護環境の整備改善を図りました。

今後とも基本理念に掲げる「みんな笑顔のために」のもと、施設のご利用者様、ご家族や地域の皆様にあいさされ、信頼される施設を目指し、職員一丸となって一生懸命頑張っております。

【事務グループ事業報告】

令和4年度、事務グループでは、介護ソフトの入替え、施設の補修と資料の整理整頓に取り組んでおります。詳細は下記の通りです。3月末までの利用者状況については別紙の通りです。

項 目	内 容	備 考
制度改正対応	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険限度額認定の更新について、事前に対象者ご家族に案内を実施 ・令和4年4月より介護職員処遇改善支援補助金を算定 10月より介護職員等ベースアップ等支援加算を算定替 	
職員の動向・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・4月介護職1名、看護職1名を採用。6月介護職1名。9月介護職2名。9月介護職から調理職へ1名異動。1月介護職1名。3月末までに退職者が正職員5名、嘱託職員4名、パート1名 ・育児短時間勤務者に対する案内・手続等を実施(3月末現在の産休育休者は1名、時短勤務者は2名) ・令和3年度ユースエール認定企業として認定される 	
施設設備の補修	<ul style="list-style-type: none"> ・2F 浴室カーテン取付 ・1階中庭四阿の塗装と防水シート取付 ・ゴミ捨場照明のタイマー取付 ・窓用エアコン取付(2部屋) 	
各種修繕	<p>給食室エアコン、居室エアコン 地下タンクメーター、事務所天井配管漏水、 消防設備(火災通報装置、誘導灯等) 井戸ポンプ用揚水管取替、受水槽ボールタップ取替 温冷配膳車コンプレッサー(1台)、利用者トイレ、 職員トイレ、車イス、特浴ストレッチャー、PHS、</p>	
備品等更新	<p>夏タイヤ(2台分)、温湿度計15台 L字介助バー5本、ベッド柵3本、エアマット1台 加湿器7台、車イス1台、体温計4台、血圧計5台、 下足箱1台、センサー3台、センサーマット5台、 PHS1台、Amazon ファイヤースティック4台 ベンチ4台、給食用食器(汁椀、コップ等) 抗原検査キット、食器乾燥機、レーザープリンタ 浴室手すり、褥瘡予防クッション20個、 医務室冷蔵庫、キャラバンバッテリー等</p>	

利用者状況等報告

1. 令和4年度 サービス別稼働率

	施設		短期入所		通所介護	
	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率
4月	3,203	97.1%	185	61.7%	275	87.3%
5月	3,331	97.7%	262	84.5%	293	88.8%
6月	3,215	97.4%	278	92.7%	287	87.0%
7月	3,348	98.2%	303	97.7%	276	87.6%
8月	3,380	99.1%	310	100.0%	228	66.1%
9月	3,248	98.4%	286	95.3%	229	69.4%
10月	3,373	98.9%	302	97.4%	287	91.1%
11月	3,175	96.2%	251	83.7%	51	15.5%
12月	3,194	93.7%	260	83.9%	177	59.0%
1月	3,289	96.5%	261	84.2%	214	71.3%
2月	3,044	98.8%	259	92.5%	236	78.7%
3月	3,346	98.1%	308	99.4%	274	79.4%
合計	39,146	97.5%	3,265	89.5%	2,827	73.3%
令和3年度	39,080	97.4%	1,200	32.9%	3,202	83.1%

2. 市町別施設入所状況 令和5年3月31日現在

	南越前町			鯖江市	越前市	敦賀市	合計
	南条	今庄	河野				
男	10	5	1	0	10	0	26
女	36	11	1	1	34	1	84
合計	46	16	2	1	44	1	110

3. 施設サービス年齢別状況

令和5年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	0	0	0	3	2	11	8	2	0	26
女	0	2	1	4	12	18	22	23	2	84
合計	0	2	1	7	14	29	30	25	2	110

平均年齢 89.7歳(男:89歳、女:89.8歳)

最高齢:101歳、最年少:65歳

4. 施設サービス介護度別

令和5年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	更新申請中	合計
男	0	1	11	9	4	1	26
女	0	1	31	28	20	4	84
合計	0	2	42	37	24	5	110

平均要介護度 3.79(昨年度3.87)

5. 施設在苑期間別

令和5年3月31日現在

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～10年	10年～15年	15年以上	合計
男	9	3	4	4	4	1	0	0	1	26
女	14	10	17	10	17	11	3	2	0	84
計	23	13	21	14	21	12	3	2	1	110

平均在所期間:2年7ヶ月

【企画相談グループ事業報告】

企画相談グループでは、施設内においての多職種連携の要として、入退所に伴う迅速な対応と新規入所者の正確な情報提供及び、各委員会の中心となり施設サービスの質の向上を図れるよう努めた。その他、自然災害による備えの必要性から避難訓練の実施や地域貢献活動として、地域ふれあいサロンへの参加の取り組みを継続した。

項目	内容	備考
計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価受審に向けた自己評価シート作成準備 中長期計画の進捗状況の確認と見直しの実施 事業継続計画(BCP)案の作成 	(必要に応じ)
人材育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> 苑内研修の企画実施と苑外研修への参加調整を図る 個別研修目標シートの作成と個人面談の実施 中長期計画内の求人活動の確保に向けた具体的取り組みにおいて、求職者向けパンフレットを作成した プライバシー保護に向けたチェックリストの実施 	(毎月第2水曜日)
衛生委員会	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルス体制の整備等に向けて「心の健康づくり計画」を作成し、6月には外部講師を招き、メンタルヘルス研修を実施した ハラスメント対策マニュアル及び、ハラスメントに関する相談・苦情対応フローチャートを作成した 	(毎月第4月曜日)
入所順位判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 入所基準に準じた必要性、緊急性等公平な判定と入所順位の高い人に対して正確な情報を収集し、入所の安定化と迅速化を図った 令和4年度新規入所者は36名(南越前町19名、越前市17名) 待機者は83名(南越前町36名、越前市44名、福井市、池田町、小浜市各1名) 	(毎月1回実施)
事故防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生防止のための指針に基づき、防げたかもしれない事故、改善策を立てるのが困難であった案件について再発防止策を再検討し、介護マニュアルの見直し、職員への周知を実施 	(毎月第2月曜日)
災害時に備えた取組	<ul style="list-style-type: none"> 通報訓練・消火訓練(9/28)、水害避難訓練・参集訓練(10/28)の実施 	消防署・役場との連携
ショートステイ	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染対策により受け入れの一部制限実施していたが、4月より順次受け入れ開始し、5月25日には10床、100%の稼働となった 	
ボランティア・実習生の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> 婦人福祉ボランティア 草むしり(9月) 武生看護専門学校実習生7名(10月) 南越前町社協主催の福祉教育学習に参画する(10月) 福井県社協主催の「ボランティア体験2023」に参画するが、感染状況により受け入れできなかった 	
地域における公益的活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域ふれあいサロンに出向き、苑で取り組んでいる内容を紹介し、令和4年度は、6か所77名のサロン利用者に参加いただいた 福井県社会福祉法人連携事業推進協議会に参加し「ふく福暮らしサポート事業」として生活困窮者に対する相談・生活支援事業に参加 地域の認知症の方や介護家族の方に対する「認知症カフェほのぼの」、「家族介護教室」を計画したが、コロナ感染状況により実施できなかった。 	(毎月1回程度) ※各集落の公民館にて実施 (利用実績なし) (年4回実施予定)

【介護グループ事業報告】

介護グループでは、それぞれのフロアの特徴を生かしたケアを展開し、重度化する利用者の方々に対して、ご家族、多職種と連携をとりながら援助している。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響による行事や面会の制限が余儀なくされ、外出や他者と交流する機会が減少されていたが、各フロアが工夫を凝らして入所者の方に楽しみのある生活を送れるようサポートした。

項目	内容	備考
喀痰吸引等業務について	<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養に関して、認定特定行為従事者の認定を受けた者による実施の徹底 ・認定資格研修へ順次受講と実技の再研修を実施 ・ライセンス取得職員は34名、実地研修中3名となっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全委員会 (3か月毎第1月曜日)
虐待防止及び身体拘束廃止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前、退院前につなぎ服や車いすでの安全ベルト等使用していた方の入所や退院に際して、原因を検討し、拘束解除に向けて、尊厳あるケアに努めた ・緊急やむを得ない拘束件数は、0件となっている ・虐待発生時の対応フローチャートの作成 ・高齢者虐待防止のセルフチェックに基づき、助け合っ て対応する職場づくりに取り組んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止・身体拘束 適正化委員会 (毎月第2水曜日)
自立支援ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人ひとりのアセスメントに基づき、水分摂取による覚醒レベルの向上を図りながら、自立した排せつと栄養摂取、歩行練習の4つの基本ケアを計画的に実践した ・科学的介護推進体制加算よりADLの維持・改善割合100%、ADL改善割合0%(R4.4~R4.10の6ヶ月間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標1日1,500ml ・医師、歯科医師、 看護師、理学療法士等各専門職との連携 ・排便下剤の見直し
食事・口腔ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・食事内容、食事形態の随時見直し ・口腔ケアの見直しを図り、3食後必ず口腔内の確認と必要に応じてみがき直しを行い、口腔機能の維持に努めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事口腔ケア委員会 (毎月第1水曜日)
看取りケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の好きな音楽等流したり、最期の時まで食べる楽しみを味わっていただけるようにお酒、果物等の好みの物を提供した ・本人の意思決定を基本とし、意思決定できない方に対する決定プロセスに配慮した ・5年3月末までの看取り介護を受けられた方は21名 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り介護委員会 (毎月第3木曜日)
認知症ケアの実践	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症に関する、介護職・看護職別の研修企画実施 ・困難事例の検討、認知症ケアのフロアごとの取り組みの発表及び情報共有を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア委員会 (毎月第3水曜日)
楽しみのある生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過においても利用者の方に楽しんでいただけるような、行事やレク活動の実施 ・四季を感じていただけるようなドライブ企画実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・バーベキュー・夏祭り ・のど自慢大会 ・バイキング・運動会 ・ハロウィン・花火大会 ・出前・手作りおやつ ・セラピードッグ等

【看護グループ事業報告】

入所者や利用者の方々の状況に応じて健康チェック・バイタルチェック・血糖値測定チェックなどを実施し、囑託医及び各部署との連携を図りながら健康管理を実施しました。

また、引き続き 新型コロナウイルス感染症対策に力を入れ取り組みました。

項目	内容	備考
他職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新人介護職研修(医療的知識について) ・緊急時の対応(急変時の対応・心肺停止) ・介護職の吸痰等有資格取得研修 ・介護職の吸痰等有資格者現任研修 ・各フロアーF 介護職研修 	4月 全職員対象 AED・モニター・酸素の取り扱い 3名 全フロアー有資格者(34名) 急変時対応 医療処置 グリーフケア
囑託医等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・山本医師の定時往診(月火水金) ・林病院整形外科医師往診 ・歯科医師往診(斎藤歯科医院) ・山本医師の病状説明 ・苑での死去 ・病院での死去 	14時～15時 15人/日・平均 2回/月 野尻医師 義歯不具合調整・義歯作成・抜歯 25名 22名(うち看取り21名) 12名
協力病院等受診	<ul style="list-style-type: none"> ①定期受診(整形・脳神経・眼科・泌尿器他) ②定期受診(精神) 鯖江市 ③短期受診(皮膚科・耳鼻科等) ④その他(福井大学 日赤 丹南) 	①林HP・中村HP・池端HP・岩堀HP・橋本整形外科HP ②みどりヶ丘HP ③平井皮膚科 やまもとクリニック
主な医療処置	インシュリン注射 血糖測定 点滴・注射処置 尿バルンカテーテル留置 導尿 心電図検査 採血 褥瘡・創傷処置 浣腸 摘便	経管栄養 胃瘻カテーテル管理 吸痰 吸引 必要時酸素投与 バルンカテーテル管理
入所者の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者胸部X-P撮影(バス検診) ・新型コロナウイルスワクチンの接種(4.5回目) ・肺炎球菌ワクチン ・インフルエンザ予防ワクチン ・STによる評価・指導 	90名(6/9) 入所者(ロングステイ含む) 職員の集団接種 対象者4名 入所者(ロングステイ含む) 10月 2名(2月・3月)
新型コロナウイルス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・朝・昼・夕+α検温強化・健康管理 ・面会制限 ・利用者の環境整備・指導 	入所者・全職員 ガラス越し面会 除菌・アクリル板設置 3密回避

【給食グループ事業報告】

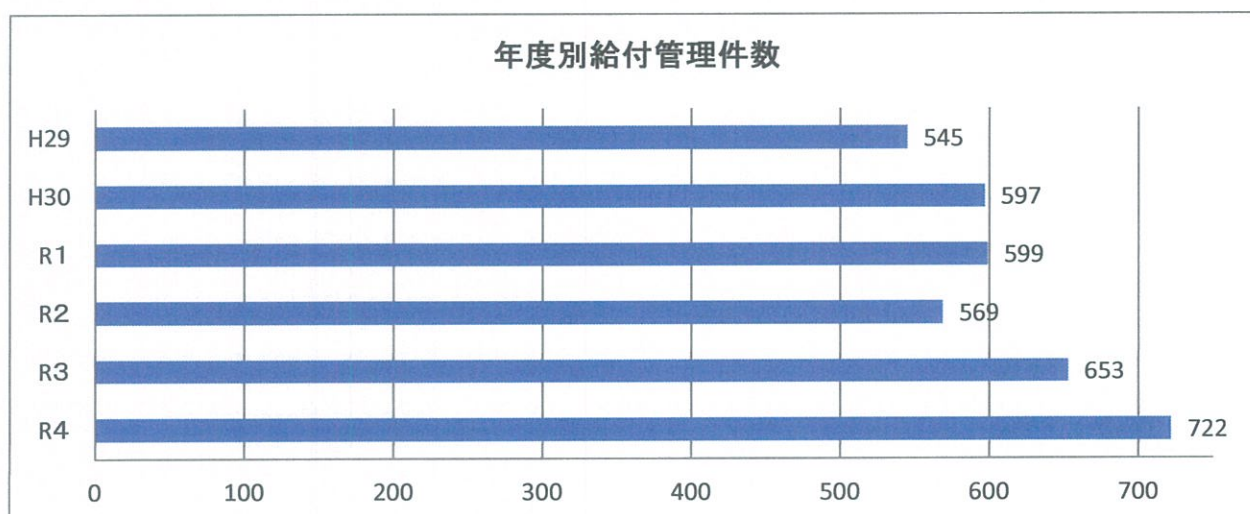
給食グループでは「楽しみにしてもらえる食事の提供」「安心安全な食事の提供」を目標に下記のように取り組みました

項目	内容	備考
食中毒事故防止	納品時や調理工程中の記録の漏れのないよう確認するようにしました。また苑内の感染対策研修に参加しグループ内に伝達研修を行いました。	
実習生受け入れ	8月22日から8月26日の5日間 仁愛大学より 実習生1名受け入れし 給食管理実習を行いました。	
嗜好調査の実施	4、10月に フロアとデイサービスの職員の聞き取りで嗜好調査を実施しました。担当職員へのアンケートも行い 結果をもとに新しいメニューの取り入れや献立の見直しについてグループで話し合いました。	
行事食の実施	毎月 季節や行事に合わせた行事食を実施しました。依頼のあった部署では昼食バイキングやデザートバイキングを行いました。	

【居宅支援グループ事業報告】

令和4年度は「円滑な在宅生活を送れるよう自立支援に基づいたケアマネジメントと行う、」を目標に、居宅支援契約者増加(目標60件)に重点をおいた。具体的な利用者状況等に関しては別紙のとおりである。

項目	内容	備考
相談援助	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のモニタリング訪問の際には、サービス提供状況や本人満足度、支援目標の達成度、計画変更の必要性を意識することで、効果的に聞き取りできるようにした。 ・家族介護における助言、指導を行い、安定した在宅介護の継続、継続困難時には、入所や小規模多機能型サービスについての情報提供を行った。 ・コロナ関連でサービス調整など行う必要があり対応した。 	
給付管理	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な新規受け入れを行い件数が伸びた。前年に比較し69件増となっている。 ・事業対象者、予防支援者の実績報告を委託されている地域包括支援センターに確実にいった。情報共有し必要と思われる支援を検討した。 ・加算を伴う、入退院時の連携を行ったが、中には入院後の連絡がなく日数が経過し情報提供が遅れてしまう事もあった。 	※下記グラフ参照
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催される地域ケア会議への参加が、地域課題を見つけるために事例検討について学んでいる。 ・ふれあいサロンについてはコロナ感染の影響により、例年より回数は少なかった。 ・自然災害の影響によるサービス調整や被害を受けた方の実情、心情について間接的に経験し災害時の取り組み等の大切さを実感した。 	
研修・会議	<ul style="list-style-type: none"> ・南越前町ケアマネ連絡会に参加した。コロナ禍にて対面による協議の機会は減ったが、介護報酬に関する講習やケアマネジメントや虐待、成年後見人制度に関連したケアプラン作成について学んだ。 ・ケアマネジメントを通じて町内における共通した課題を見つける機会につながっている。 ・居宅支援に必要な法令についての解釈を確認、学んだ。 	



【令和4年度 通所介護事業報告】

今年度も昨年度に引き続き、感染対策を第一に心掛けた。しかし、利用者や職員のコロナウイルス感染によりR4.8月に5日間、9月に7日間、また11月に併設施設がクラスターとなり11月7日から12月4日まで、感染拡大防止のため、営業休止とした。休止期間中は全利用者様に定期的に体調の確認を行い、感染の恐れのある利用者様に対し、抗原検査を実施するなど安心して過ごしていただけるよう努めた。

日頃から、ご利用者様のご意向や要望への対応、日々の健康状態をご家族様へ連絡することにより重症化を予防し、自宅での生活が継続出来るよう努めた。感染対策を行いながら利用者様が楽しみが持てるレクリエーションや行事等に取り組んだ。

項目	内容	備考
ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症対策の継続実施、環境整備 ・利用者様に合った食事の提供、入浴支援、排泄支援、運動、余暇活動、レクリエーションの実施 ・理学療法士による状態確認や福祉用具選定等の相談支援 ・令和4年4月から入浴介助加算Ⅱの算定(対象者のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・検温を1日4回に増回し、異常の早期発見、感染拡大防止に努めた(感染が落ち着いたことにより、現在、検温は1日2回に)
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族様との連絡帳による情報共有を図った ・介護支援専門員への情報共有を密にし連携を図った ・ご家族の都合による利用時間の変更に対応した 	
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・苑内研修に参加し、意識を高め、知識を深めた ・研修不参加職員への伝達研修を実施 	
行事	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会 ・ドライブ ・出前 ・テイクアウトなど、感染対策を行い、利用者様に意向を聞きながら実施 	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比													
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合計												
介護度	事業対象者	0	12	0	12	0	13	0	11	0	12	0	8	0	12	0	3	0	10	0	9	0	13	0	18	133	-122	
	要支援1	2	6	0	6	5	9	4	10	2	9	4	10	4	13	1	1	0	11	0	9	0	12	3	14	135	123	
	要支援2	19	25	22	23	13	17	12	17	8	11	7	7	0	9	0	1	0	7	0	8	0	8	0	13	227	-405	
	要介護1	0	71	2	80	20	73	21	66	2	68	16	61	19	84	3	14	3	57	12	62	12	86	12	100	944	-102	
	要介護2	71	35	74	40	70	48	72	48	48	52	57	48	75	54	13	12	45	27	46	39	40	26	43	20	1103	359	
	要介護3	13	15	13	17	13	1	13	0	12	0	10	0	13	0	2	0	11	3	16	9	16	20	16	21	234	-173	
	要介護4	0	6	0	4	0	5	0	2	0	4	0	1	0	4	0	1	0	3	0	4	0	3	0	14	51	-64	
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1
男女別合計		105	170	111	182	121	166	122	154	72	156	94	135	111	176	19	32	59	118	74	140	68	168	74	200	1,030	1,797	
総合計		275	293	287	276	228	229	287	51	177	214	236	274	2827	-375													
延べ定員数		315	330	330	315	345	330	315	330	300	300	300	345	3855														
稼働率 %		87.3%	88.8%	87.0%	87.6%	66.1%	69.4%	91.1%	15.5%	59.0%	71.3%	78.7%	79.4%	73.3%	-9.8%													
新規利用		0	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	13	-9	